

造船造機統計調査結果（令和2年）の概要

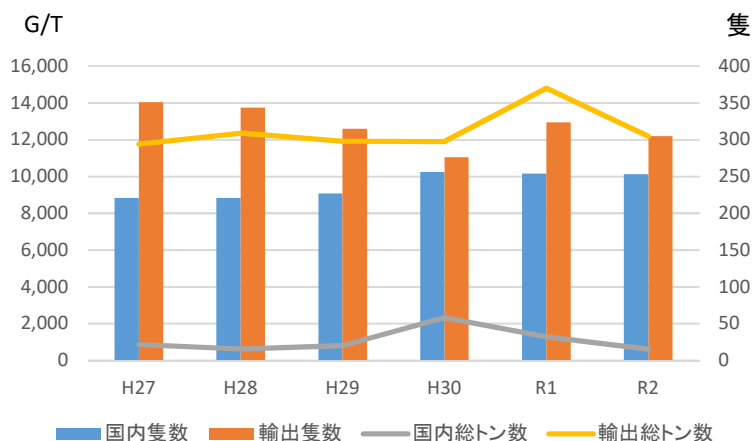
※ 当該資料は、令和2年1月から令和2年12月までの造船統計月報及び令和2年第1四半期から令和2年第4四半期までの造機統計四半期報データを積み上げたものである。

1. 造船統計

令和2年の鋼船建造実績は、受注183隻、2,846千G/T、起工433隻、10,595千G/T、進水539隻、12,033千G/T、しゅん工558隻、12,818千G/T、しゅん工船価 14,302億円であった。しゅん工における前年比は隻数 3.5%減、総トン数 20.3%減、しゅん工船価 21.5%減であった。

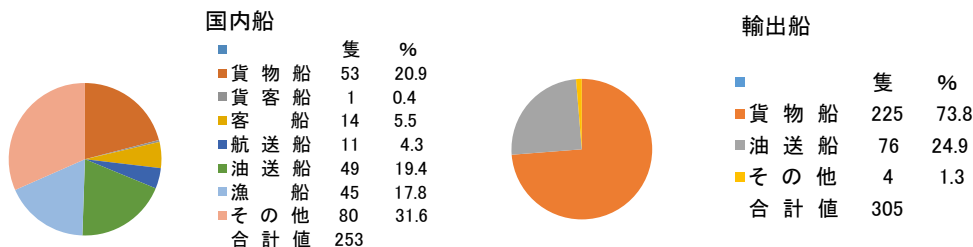
このうち国内船は、しゅん工253隻、615千G/T、しゅん工船価 3,184億円、船価における前年比は、11.7%減であった。また、輸出船は、しゅん工305隻、12,203千G/T、しゅん工船価 11,118億円、船価における前年比は、24.0%減であった。

①しゅん工船（鋼船）の国内船・輸出船別推移

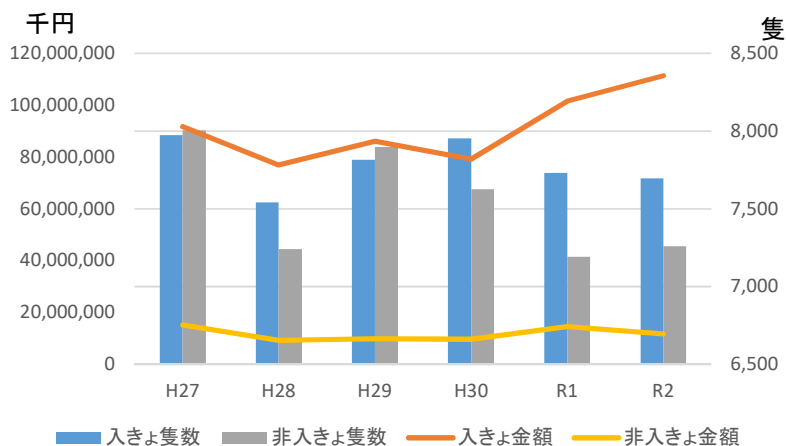


②しゅん工船の用途別隻数（鋼船）

しゅん工船のうち国内船は253隻、輸出船は305隻で、用途別（船種）では、次のとおりであった。



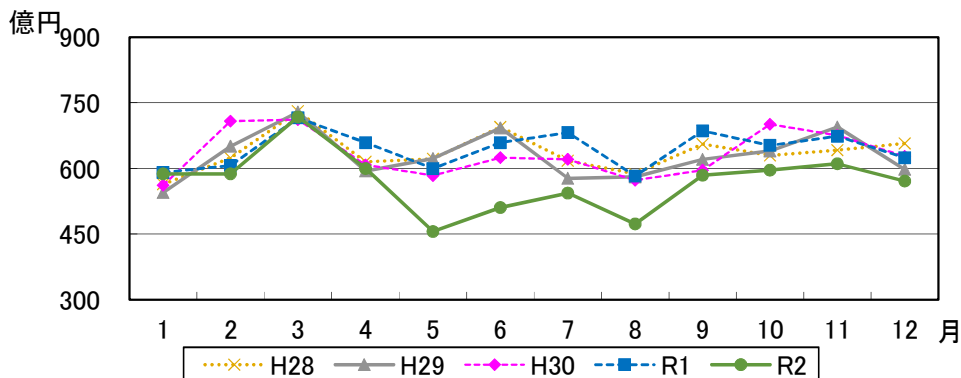
③修繕船舶（鋼船）の入りよ・非入りよ別推移



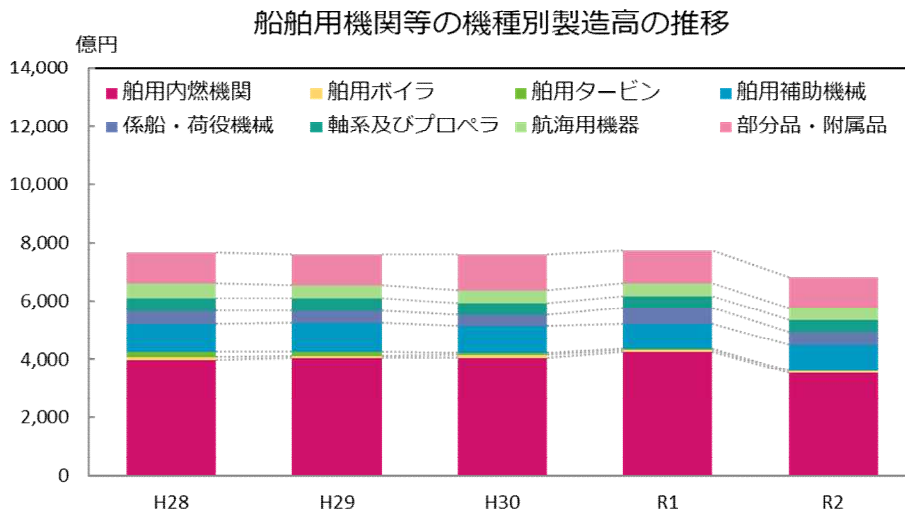
2. 造機統計

船舶機関等の令和2年製造高は、6,841億円であり、令和2年12月末在庫高は219億円であった。
また、令和2年修繕高は347億円であった。

① 造機製造高の推移



② 船舶機関等の機種別製造高の推移



③ 船舶機関等の機種別修繕高の推移

